

和泉市の財政状況

令和6年度決算







令和7年10月

和泉市 総務部 財政課

財政の基礎知識

「財政」「予算」「決算」とは

「財政」とは・・・

地方公共団体は、住民の暮らしを支えるため、子育て、福祉、教育などの公共サービスを行っています。 さまざまなサービスを行うために、税金や手数料などを徴収したり、市債(借金)を発行したりしています。 このような一連の「お金のやりくり」を財政といいます。

「予算」とは・・・	「決算」とは・・・
その年度(4月~3月)における歳入、歳出の見積もり(計画)のことを予算といいます。 歳入:市に入ってくるお金(収入)のこと 歳出:市が支払うお金(支出)のこと	その年度(4月~3月)における歳入、歳出の実績 のことを決算といいます。 実際に、どれだけの収入があり、どのような事業に いくら支出したのかが分かります。

市のお財布の種類について

和泉市のお財布は、「一般会計」、「特別会計」、「企業会計」に分かれています。

<一般会計>

市の基本的な事業(福祉、教育、ごみ処理、道路など)をするためのお財布です。 税金や国・府からの補助金等が主な財源になっています。

<特別会計>

特定の事業を行うためのお財布です。国民健康保険など、保険料等の収入により、医療費等の支出をまかなっています。一般会計と分けることで経理を明確にしています。

和泉市には、次の事業を行うための特別会計があるよ。

- ①国民健康保険事業 ②公共用地先行取得事業 ③介護保険事業
- 4後期高齢者医療事業



<企業会計>

民間企業と似た事業を行うためのお財布です。水道など料金収益により維持費用をまかなっています。一般会計と分けることで経理を明確にしています。

和泉市には、次の事業を行うための企業会計があるよ。

①水道事業 ②公共下水道事業 ③公共浄化槽事業 ④病院事業



各会計の決算概要

各会計ごとの決算状況

(単位:千円)

会	計	区	分	歳入	歳出	形式収支	翌年度へ繰越	実質収支
_	般	会	計	79,963,028	79,292,744	670,284	315,344	354,940
特	国民健康	保険事業		18,174,779	18,160,635	14,144	0	14,144
別	公共用地	先行取得	事業	558,342	558,342	0	0	0
	介護保険	事業		16,202,737	16,043,051	159,686	0	159,686
会	後期高齢	者医療事	業	3,298,598	3,196,556	102,042	0	102,042
計		計		38,234,456	37,958,584	275,872	0	275,872
合			計	118,197,484	117,251,328	946,156	315,344	630,812
				,		,		1



会	計 区	分		収益的収支	資本的収支	資金剰余額
企	企 水道事業		収入	3,212,582	322,634	1,287,535
			支出	3,030,276	882,777	1,207,555
業	業 公共下水道事業		収入	4,023,767	1,236,009	1.223.228
公共下小坦爭未		支出	3,572,910	2,599,680	1,223,226	
	公共浄化槽事業		収入	28,772	15,024	9.989
会	会		支出	28,772	13,806	9,909
住 陀車業		収入	703,050	1,250,641	0	
計	病院事業計		支出	1,079,807	1,271,029	U

で資金不足は発生していません。 収益的収支とは、 日々の営業活動に関するもの、資本的収支と は施設の整備に関する ものです。

全ての公営企業会計

企業会計の主な増減理由

水道事業

収益的収入について、内田加圧ポンプ所跡地売却に伴う固定資産売却益があったものの、受託工事収益や長期前受金戻入の減少していることから、前年度比13,131万円の減収となりました。

一方、収益的支出については、原水及び浄水費、受託工事費が減少したことで、前年度から25,026万円の減となったことから、単年度収支は1億8,230万円となりました。

公共下水道事業

収益的収入について、長期前受金戻入等の減少があったものの、過年度損益修正益等の増加により前年度から1,763万円の増となりました。

一方、収益的支出については、流域下水道管理費及び減価償却費の減に加え、支払利息及び企業債取扱諸費が減少したことで、前年度から2,550万円の減となったことから、単年度収支は4億5,086万円となりました。

公共浄化槽事業

公共浄化槽事業は、令和4年度から地方公営企業法を適用し、企業会計方式となりました。 収益的収入は一般会計補助金が大半を占めており、収益的支出は浄化槽費や減価償却費が大半を占めています。

病院事業

入院患者数は前年度比3.9%増の延べ12万1,193人、外来患者数は前年度比3.7%増の延べ27万1,913人となりました。 収益的収支において、収入は長期前受金戻入の減少により7億305万円、支出は10億7,981万円となりました。

企業会計の詳細は、担当部署のホームページをご覧ください。

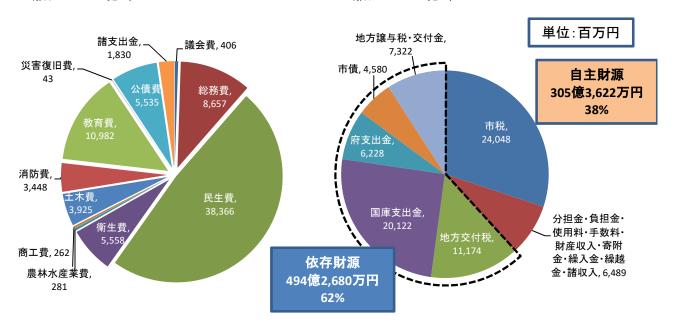
水道事業会計	http://www.izumi-suido.com/jyosuido/yosan-kessan/index.htm	
公共下水道事業会計、公共浄化槽事業会計	http://www.izumi-suido.com/gesuido/izumi-g/yosan-kessan/index.html	
病院事業会計	https://www.city.osaka-izumi.lg.jp/kakukano/kosodatekenkobu/byouinkeieikanri/gyoumu/yosankessan/12009.html	

一般会計の決算

一般会計の決算は 3億5,494万円 の黒字となりました。

歳出 792億9,274万円

歳入 799億6,302万円



令和6年度 一般会計決算は、

市に入ったお金(歳入)は、799億6,302万円 市が使ったお金(歳出)は、792億9,274万円 差し引き(形式収支)は、6億7,028万円 でした。

このうち令和6年度に事業完了しなかった 3億1,534万円 を次年度に繰り越して使います。 形式収支から繰り越しする財源を差し引いた 3億5,494万円 が実質収支となります。

く参考>

令和5年度 一般会計決算は、

市に入ったお金(歳入)は、726億8.357万円

市が使ったお金(歳出)は、719億6,069万円

差し引き(形式収支)は、7億2,288万円 でした。

このうち令和5年度に事業完了しなかった 3億5,772万円 を次年度に繰り越して使います。 形式収支から繰り越しする財源を差し引いた 3億6,516万円 が実質収支となります。

一人当たりの歳出額

和泉市

令和6年度決算における市民一人当たりの歳出額



議会費 2,228円 議会の運営のために



47.538円 庁舎の管理などのために



民生費 210.682円 福祉や子育てのために



衛生費 30,521円 環境保全などのために



農林水産業費 1,541円 農林業などのために



商工費 1,440円 商業振興のために



土木費 21,555円 公共事業などのために



消防費 18,937円 消防のために



教育費 60,308円 教育のために



公倩費 30,392円 借入金返済のために



福祉や子育てにかかる費用(民生費)が 大きいんだな。

他の市町村と比較すると・・・

令和5年度決算における市民一人当たり歳出額の類似団体・大阪府内平均との比較

議会費	2,173円
類似団体平均	2,036円
大阪府内平均	1,769円

衛生費	30,554円
類似団体平均	37,927円
大阪府内平均	38.371円

土木費	28,139円
類似団体平均	35,410円
大阪府内平均	53,480円

公債費	34,273円
類似団体平均	27,084円
大阪府内平均	48.460円

総務費	33,660円
類似団体平均	43,546円
大阪府内平均	46,316円

農林水産費	2,219円
類似団体平均	2,625円
大阪府内平均	968円

消防費	9,112円
類似団体平均	13,286円
大阪府内平均	13,713円

民生費	206,801円
類似団体平均	197,495円
大阪府内平均	258,583円

商工費	3,847円
類似団体平均	6,129円
大阪府内平均	7 853円

教育費	44,096円
類似団体平均	48,019円
大阪府内平均	71,178円

類似団体とは

人口や産業構造で日本全国市町村を分けた「市町村類型」で同じグループに入る団

体のことをいいます。

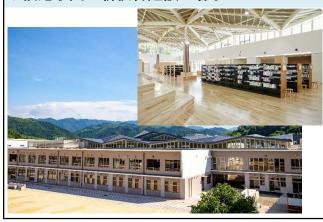
令和5年度決算における当市の類似団体は、関西では、 京都府宇治市、兵庫県伊丹市、川西市だよ。



令和5年度の市民一人当たりの民生費は206,801円で類似団体平均と比較して多くなっているのは、社会 保障経費が多くなっているためです。また、令和6年度は槇尾学園の新校舎建設等により教育費が増額と なっています。

令和6年度に取り組んだ主な事業

●槇尾学園の新校舎建設に着手



令和6年度決算額:25億8,345万円

槇尾中学校敷地を活用した施設一体型義務教育学校 (小中一貫校)について、令和7年4月の開校をめざし、7月 に新校舎建設工事が完了した後、既存校舎の除却やグラ ウンド整備を進め3月末に竣工しました。

●和泉市消防本部・和泉消防署の移転



令和6年度決算額:17億6,056万円

消防本部・消防署庁舎について、令和6年12月開庁に向けて旧市立病院跡地への移転建替工事等を進めるほか、堺市との消防指令業務の共同運用も開始します。

●小学校体育館及び小中学校の特別教室への空調整備

令和6年度決算額:13億2,090万円

小学校体育館及び小中学校の特別教室への空調設備の整備に係る設計及び工事を行うほか、小学校体育館非構造部材耐震化等改修工事並びに小中学校消防防火設備改修に係る設計及び工事を行いました。

●信太山丘陵里山自然公園の整備

令和6年度決算額:1億4,701万円

信太山丘陵里山自然公園の西側部分を8月に開園し、指定管理を開始しました。また、公園の自然環境の保全と活用のため、市民参画の公園協議会において協議を行い、伐木伐根、水道管敷設、周辺道路への案内標識の設置工事などの公園整備を行いました。併せて整備を進めるため、用地の買戻しを行いました。

●特定健診時に医師が必要と判断した「心不全リスク検査」への補助

令和6年度決算額:615万円

市民の健康寿命の延伸に寄与するため、軽症又は無症 状の心不全の早期発見を目的に心不全検査を実施しました。

●中学校での少人数学級の編成

令和6年度決算額:4,051万円

学力向上及び生徒指導の充実を図るため、中学校における35人学級編制を中学校1年生からスタートしました。

●「書かない窓口」システムの構築

令和6年度決算額:2,926万円

市民室窓口における各種証明書等の発行について、マイナンバーカード等を提示することで市民が申請書に氏名・住所等を何度も記載することなく証明書の発行や各種届出等が可能となる「書かない窓口」を導入し、令和7年1月から実施しました。

●避難行動要支援者の支援体制整備

令和6年度決算額:1,090万円

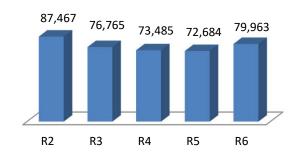
自ら避難することが困難な要支援者が地域の支援を受けて迅速に避難できるように、平常時からの地域の見守りなどの推進と、支援システムの構築を行い、支援体制の整備を行いました。

一般会計における5年間の決算状況の推移

歳出決算額の推移 (単位:百万円)

87,024 79,293 76,011 73,013 71,961 R2 R3 R4 R5 R6

歳入決算額の推移 (単位:百万円)



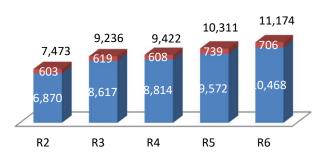
令和6年度の歳出	792億9,274万円	令和6年度の歳入	799億6,302万円
前年度比較	73億3,205万円(10.2%)増加	前年度比較	72億7,945万円(10.0%)増加
主な増減要因	槇尾学園、庁舎第1分館、新消防本部等の整備や、小中学校の改修により建設事業費が増加しました。	主な増減要因	槇尾学園、庁舎第1分館、新消防本部等の整備や、小中学校の改修に伴う市債等が増加しました。

市税の推移(単位:百万円)

24,644 24,458 24,010 24,048 23,795 R2 R3 R4 R5 R6

地方交付税の推移 (単位:百万円)





令和6年度の税収	240億4,790万円	令和6年度の地方交付税	111億7,384万円
前年度比較	5億9,647万円(2.4%)減少	前年度比較	8億6,281万円(8.4%)増加
主な増減要因	定額減税の影響により、個人市 民税が5億8,415万円減少しまし た。	_ U U U W A A	普通交付税が8億9,553万円増加 した一方、特別交付税が3,272万 円減少しました。

🕎 用語の説明

_	
地方交付税	住民サービスに必要な費用が、市税などの収入を上回ったときに国から交付されるお金であり、普通交付税と特別交付税の合計
	普通交付税 = 基準財政需要額(費用) - 基準財政収入額(収入)
人件費	職員の給与などの費用
扶助費	保育や高齢者、障がい者などの支援のための費用
建設事業費	道路や学校、庁舎などの整備・改修費用

市債発行額の推移 (単位:百万円)

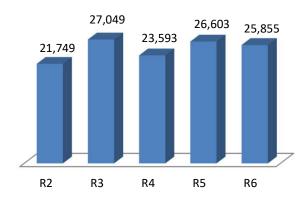
5,800 3,310 4,580 2,085 R2 R3 R4 R5 R6

人件費の推移(単位:百万円)

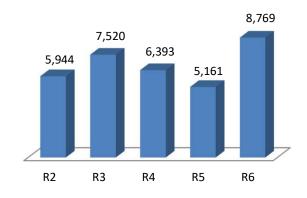


令和6年度の市債発行額	45億8,040万円	令和6年度の人件費	114億2,304万円
前年度比較	24億9,540万円(119.7%)増加	前年度比較	8億8,302万円(8.4%)増加
主な増減要因	消防の移転建替や機材の整備で 10億3,680万円、槇尾学園の整備 で10億630万円、小中学校の空調 整備等で8億7,180万円増加しまし た。		会計年度事業報酬が2億9,009万 円増加した他、退職手当等が増加 しました。

扶助費の推移 (単位:百万円)



建設事業費の推移 (単位:百万円)

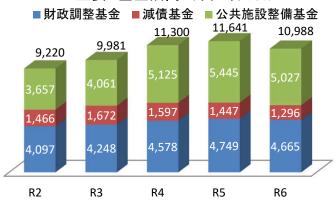


令和6年度の扶助費	266億251万円	令和6年度の普通建設事業費	51億6,090万円
前年度比較	7億4,717万円(2.8%)減少	前年度比較	36億835万円(69.9%)増加
主な増減要因	障がい者介護等給付費において7 億532万円増加しましたが、R5に 実施した物価高騰対策給付金事 業によって20億6,299万円減少しま した。	主な増減要因	槇尾学園の整備費で13億6,406 万円、庁舎第1分館の整備費で8 億785万円、新消防本部の整備費 で7億9,166万円増加しました。



建設事業では今後、学校の大規模改修、青少年の家の改修、(仮称)富秋学園整備事業を進めていくよ。

主要3基金残高(単位:百万円)



市民一人当たり主要3基金残高

(単位:百万円) ■財政調整基金 ■減債基金 ■公共施設整備基金

63.7 61.7 60.3 54.2 49.9 7.9 8.7 7.1 9.1 7.9 25.0 26.0 25.6 23.1 22.2

R4

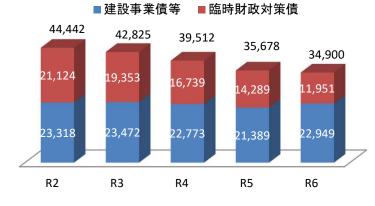
R2

R3

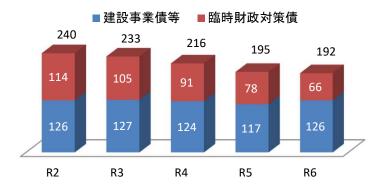
市債残高 (単位:百万円)

R5

R6



市民一人当たり市債残高 (単位:千円)



令和6年度末の一般会計の貯金 (3基金残高)は約110億円だよ。

これから人口減少による税収の減 少、社会保障費の増加、施設の老 朽化対策も必要なので貯金が 減っていく見込だよ。

常に、10年後にも貯金が30億円を キープできるように、将来を見据 えて運営しているんだ。



用語の説明

道路や公園、学校な どの公共施設の整備 交付税の財源が不 のために発行した市 債です。

建設事業債等

臨時財政対策債

国が交付すべき地方 足した場合に、穴埋 めとして市が発行す る市債です。 返済時に地方交付税 で補填されます。

令和6年度末の一般会計の借金は、 約349億円だよ。

借金をするのは・・・

建物や道路は作った年度だけでなく 将来にわたって使われるよ。 作った年度の住民だけに負担しても らうのではなく、将来の住民にも負 担してもらうため、借金の返済という 形で世代間の公平を保っているんだ ね。



指標による他市との比較

財政力指数

0.91 0.92 0.91 0.90 0.95 0.89 0.90 0.85 0.80 0.75 0.75 0.73 0.72 0.70 0.75 0.69 0.70 0.73 0.72 0.65 0.70 0.69 0.67 R1 R2 R3 R4 R5 **R6** → 和泉市 → 類似団体 → 府内平均

令和6年度の財政力指数

0.69

4.3

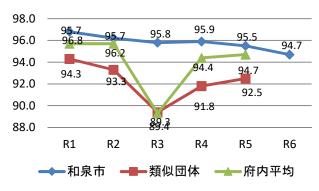
費用に対する収入の割合です。

基準財政収入額を基準財政需要額で除した数値の過去 3年平均値で、数値が大きい方ほど財源に余裕があること になります。

令和5年度の指数を類似団体と比較すると0.20ポイント悪くなっています。

和泉創発プランによる財政健全化に引き続き取り組むとともに、市税の徴収強化等により歳入確保を行う必要があります。

経常収支比率 (単位:%)



令和6年度の経常収支比率 94.7

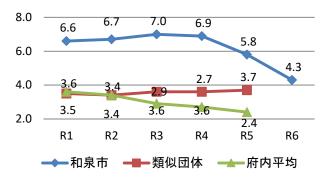
市税や交付税などの使途が決められていない収入が、 人件費、扶助費、公債費など経常的な費用に充当される 割合です。

数値が小さいほど、財政に自由度があるといえます。

公債費が多いことから、令和5年度の比率を類似団体と 比較すると3.0ポイント悪くなっています。

和泉創発プランによる経常経費の見直しや市税収入の確保を引き続き行う必要があります。

実質公債費比率 (単位:%)



令和6年度の実質公債費比率

借入金(市債)等の標準財政規模に対する比率の過去3年平均値です。数値が小さいほど、借入金返済にかかる 経費が少ないといえます。

市域が南北に広いことで多くの公共施設や道路が整備されたため、令和5年度の比率を類似団体と比較すると3.4ポイント悪くなっています。

今後も公共施設の維持、更新が発生するため市債の発行・償還が想定されますが、事業費縮減に努めることで公債費の抑制を図ります。

1

早期健全化基準、財政再生基準

(単位:%)

			\ - - /0/
指標名称	令和6年度	早期健全化基準 (黄信号)	財政再生基準 (赤信号)
実質赤字比率	=	11.49	20.00
連結実質赤字比率	-	16.49	30.00
実質公債費比率	4.3	25.0	35.0
将来負担比率	-	350.0	

※赤字額がない、数値が負数となるなど、比率が算定されないものは「-」と表示しています。

早期健全化基準は全てクリアしているんだ。



和泉市の現状と課題

(1)人口減少による市税の減少、社会保障費の増加

平成27年3月末の住民基本台帳人口は、18万7,166人でしたが、令和7年3月末の人口は18万2,104人となりました。

今後も生産年齢人口の減少による市税収入の減少、高齢化による社会保障経費の増加が見込まれます。

このことから、人口減少の影響を最小限にするため、定住促進施策など様々な課題に対処するまちづくりの取組を行うとともに、経常経費の見直し等による歳出削減、使用料や手数料の受益者負担の適正化や新たな歳入の確保に取り組みます。

(2)公共施設の老朽化

令和7年3月末において本市が所有する公共施設の延床面積は549,400㎡であり、内訳をみると、学校教育系施設が全体の41.0%、次いで市営住宅が29.0%となっており、合わせて全体の70.0%を占めています。

和泉市公共施設等総合管理計画では、本市が所有する普通会計対象の公共施設などを現在と同規模で維持 し続けると仮定した場合、今後25年間で総額約1,416億円(1年当たり約57億円)の改修・更新費用が見込まれて います。特に令和10年代中頃から令和20年代後半にかけ、多くの施設が更新時期を迎えることが予測されてい ます。

これらを踏まえ、公共施設等総合管理計画においては、本市が所有する普通会計の公共施設を30年間で、延 床面積を70%まで縮減することを目標としています。

行財政改革に取り組んでいるよ。



創発プラン(改訂版)における健全化項目(一部)

令和6年度決算見込べ一ス

(1)歳入の確保

効果額(単位:百万円)

		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R2-R6計	R2-R13計
活用が見込めない	創発プラン見込額	32		309	250	369		960	1,641
財産の売却	R5決算見込額ベース	32		309	250	211	160	962	1,629
市営住宅の駐車場使用	創発プラン見込額	5	20	26	23	23	30	127	367
料の見直し	R5決算見込額ベース	5	20	26	23	22	22	118	358
歳入における取組	創発プラン見込額	70	54	371	300	410	48	1,253	2,286
合計	R5決算見込額ベース	70	54	371	300	254	200	1,249	2,270

(2)歳出における取り組み

効果額(単位:百万円)

	-								
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R2-R6計	R2-R13計
経常経費の見直し	創発プラン見込額	72	72	72	92	92	92	492	1,228
(マイナスシーリング)	R5決算見込額ベース	72	72	72	92	92	92	492	1,228
敬老祝金・祝品を見直し、	創発プラン見込額	38	42	37	36	39	39	231	543
他の高齢者施策に活用	R5決算見込額ベース	38	42	37	36	41	47	241	553
歳出における取組	創発プラン見込額	226	300	390	401	410	388	2,115	5,118
合計	R5決算見込額ベース	226	300	390	401	475	413	2,205	5,260



みなさまの身近な歳出削減の取組として、例えば、食品ロスの削減やごみの分別を行うことで<u>ごみの焼却処理費用が軽減されるよ。</u>

収支・基金残高見通し

令和6年度決算見込みベースにおける収支見通し

(単位;百万円)

	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
実質収支	284	646	339	365	355	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基金残高	8.309	9.070	10.539	11.030	10.627	10.543	8.591	8.094	7.503	7.212	6.991	6.626	5.744	5.283	4.617

令和5年度決算見込みベースにおける収支見通し

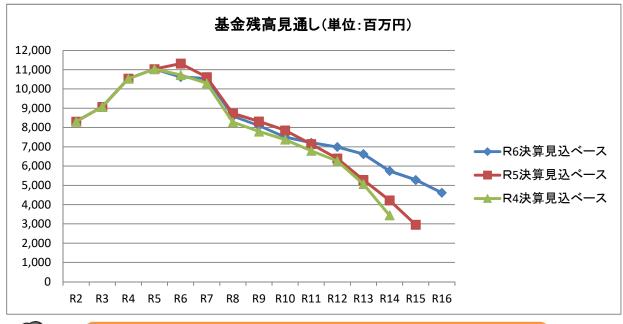
(単位:百万円)

	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
実質収支	284	646	339	365	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基金残高	8,309	9,070	10,539	11,030	11,320	10,615	8,730	8,317	7,849	7,140	6,395	5,280	4,226	2,957

令和4年度決算見込みベースにおける収支見通し

(単位;百万円)

	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	
実質収支	284	646	339	385	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
基金残高	8,309	9,070	10,539	11,035	10,728	10,299	8,274	7,791	7,373	6,794	6,260	5,066	3,447	





決算時点から10年後までの各年度末基金残高として約30億円を確保することを 目標としているよ。

基金(貯金)がなくなってしまうと、その年の収入の範囲内でしか行政サービスを提供できなくなるよ。そうなれば、今よりも行政サービスは低下するし、公共施設が廃止されたりすることがあるよ。



今後の主な施策、行財政改革の詳細については、「和泉創発プランの計画期間を延長しました」をご覧ください。 https://www.city.osaka-izumi.lg.jp/kakukano/kousitu/kikaku/izumi_souhatsu_plan/koukei_keikaku.html

その進行管理については、「和泉創発プランの進行管理について」をご覧ください。

https://www.city.osaka-izumi.lg.jp/kakukano/kousitu/kikaku/izumi souhatsu plan/14848.html





